

## お客さまやパートナーとの共創により With/Afterコロナ時代の新たな価値を提供し、 サステナビリティ社会の実現に貢献します

NTTコミュニケーションズ株式会社  
代表取締役社長

丸岡 亨

新型コロナウイルス感染症の拡大は、人々の意識や社会のあり方に大きな変容をもたらしました。リモートを前提とした多様なコミュニケーション、働き方、学びなどが急速に浸透する中、お客さまが求める価値にも変化が生じています。このコロナ禍において、NTTコミュニケーションズはニューノーマルへの移行をけん引する立場として、自らのICTリソースを活用したフレキシブル&ハイブリッドワーク<sup>※1</sup>を強力に推進してきました。その結果、生産性の向上や柔軟な働き方の実現といった観点で、顕著な成果を残すことができました。自らの実践を今後の事業に活かし、社会に還元していくことは、私たちの重要な使命です。

2022年1月、NTTコミュニケーションズはNTTコムウェアとともに新生NTTドコモグループの一員となります。新ドコモグループとして、モバイルからサービス・ソリューションまで事業領域を拡大し新しい世界を創出していき、私たちNTTコミュニケーションズグループは大企業から中小企業までの法人事業をワンストップで担い、「モバイルファースト/クラウドファースト」を戦略の柱として社会・産業DXを推進し多様な社会課題の解決に貢献していきます。

私たちは昨年中期的な事業ビジョン「Re-connect X」を策定しました。新ドコモグループとなって以降も、本事業ビジョンのもと新たな移動固定融合サービス

やソリューションにより社会・産業をつなぎなおし、サステナブルな未来の実現を目指してまいります。ニューノーマルの社会において、新たな価値を提供し続けるために、これまで以上に人やモノ・コトを通信で「つなぐ」仕事の質を高め、データの収集・蓄積・分析・還元に関心を発揮する新たなプラットフォームとしての付加価値を生み出すことでDXソリューションの可能性を切り拓いていきます。私たちがICTインフラの強化やデータの利活用を通じてつなぐ、あるいは「つなぎなおす」対象は、個人や地域、産業、社会など多岐にわたり、そこには無限の可能性が広がります。加えて、お客さまやパートナーとの共創にも積極的に取り組むことで、イノベーションや新たなソリューション創出に向けたスピードアップも図ってまいります。

2021年5月、NTTコミュニケーションズは従来のCSR基本方針に代わるものとしてサステナビリティ基本方針を策定しました。これはCSR(企業の社会的責任)という概念を超えた世界共通のSDGsやCSVの実現に向けた決意表明です。私たちはICTを活用して多様な社会課題を解決することでステークホルダーの期待に応えるとともに、2030年度には自社の排出するCO<sub>2</sub>を実質0とするカーボンニュートラル<sup>※2</sup>を実現し、目指すサステナブルな社会の構築に貢献していきます。

※1 フレキシブル&ハイブリッドワーク：働く場所と時間を自由に選択できるフレキシブルワークと、リアルとデジタルを組み合わせたハイブリッドワークによる柔軟な働き方のこと

※2 対象はGHGプロトコル：Scope1(自らの温室効果ガスの直接排出)、およびScope2(他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出)